

【音楽】目標・内容表

特別支援学校学習指導要領（文部科学省）参照

学部	小学部			中学部		高等部	
教科の目標	表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活の中の音や音楽に興味や関心をもって関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに興味や関心をもって関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
知識及び技能	(1) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。			(1) 曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。		(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	
思考力、判断力、表現力等	(2) 感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。			(2) 音楽表現を考えることや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。		(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	
学びに向かう力、人間性等	(3) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。			(3) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。		(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	
段階の目標	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
知識及び技能	ア 音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。	ア 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	ア 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	ア 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。	ア 曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。	ア 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。	ア 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	イ 音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。	イ 音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。	イ 音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	イ 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。	イ 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。	イ 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	イ 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	ウ 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしていく態度を養う。	ウ 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしていく態度を養う。	ウ 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしていく態度を養う。	ウ 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしていく態度を養う。	ウ 主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしていく態度を養う。	ウ 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	ウ 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

学部	小学部			中学部		高等部	
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
A 表現	ア 音楽遊びの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	(ア)音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすること。	(ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一分を自分なりに歌いたいという思いをもつこと。	(ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをもつこと。	(ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合った表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。	(ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。	(ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。	(ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。
	(イ)表現する音や音楽に気付くこと。	(イ)次の㉗及び㉘について気付くこと。 ㉗ 曲の特徴的なリズムと旋律 ㉘ 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉	(イ)次の㉗及び㉘について気付くこと。 ㉗ 曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わり ㉘ 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わり	(イ)次の㉗及び㉘について気付くこと。 ㉗ 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わり ㉘ 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わり	(イ)次の㉗及び㉘について理解すること。 ㉗ 曲名や曲想と音楽の構造との関わり ㉘ 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わり	(イ)次の㉗及び㉘について理解すること。 ㉗ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり ㉘ 声の音色や響きと発声との関わり	(イ)次の㉗及び㉘について理解すること。 ㉗ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり ㉘ 声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わり
	(ウ)思いに合った表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 音や音楽を感じて体を動かす技能 ㉘ 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能 ㉙ 音や音楽を感じて声を出す技能	(ウ)思いに合った表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 範唱を聴いて、曲の一部を模唱する技能 ㉘ 自分の歌声に注意を向けて歌う技能 ㉙ 教師や友達と一緒に歌う技能	(ウ)思いに合った歌い方で歌うために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりする技能 ㉘ 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて歌う技能 ㉙ 教師や友達と一緒に声を合わせて歌う技能	(ウ)思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりする技能 ㉘ 発声の仕方に気を付けて歌う技能 ㉙ 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能	(ウ)思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 歌詞やリズム、音の高さ等を意識して歌う技能 ㉘ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能 ㉙ 独唱と、斉唱及び簡単な輪唱などをする技能	(ウ)創意工夫を生かした表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能 ㉘ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能 ㉙ 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能	(ウ)創意工夫を生かした表現をするために必要な次の㉗及び㉘の技能を身に付けること。 ㉗ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 ㉘ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら、他者と合わせて歌う技能
		イ 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
		(ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつこと。	(ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつこと。	(ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合った表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。	(ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想にふさわしい表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。	(ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。	(ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。
		(イ)次の㉗及び㉘について気付くこと。 ㉗ 拍や曲の特徴的なリズム ㉘ 楽器の音色の違い	(イ)次の㉗及び㉘について気付くこと。 ㉗ リズム、速度や強弱の違い ㉘ 演奏の仕方による楽器の音色の違い	(イ)次の㉗及び㉘について気付くこと。 ㉗ 曲の雰囲気と音楽の構造との関わり ㉘ 楽器の音色と全体の響きとの関わり	(イ)次の㉗及び㉘について理解すること。 ㉗ 曲想と音楽の構造との関わり ㉘ 多様な楽器の音色と全体の響きとの関わり	(イ)次の㉗及び㉘について理解すること。 ㉗ 曲想と音楽の構造との関わり ㉘ 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わり	(イ)次の㉗及び㉘について理解すること。 ㉗ 曲想と音楽の構造との関わり ㉘ 多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり

学部	小学部			中学部		高等部	
	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
A 表現		(ウ)思いに合った表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 範奏を聴き、模倣をして演奏する技能 ㉘ 身近な打楽器を演奏する技能 ㉙ 教師や友達と一緒に演奏する技能	(ウ)思いに合った表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする技能 ㉘ 身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能 ㉙ 教師や友達の楽器の音を聴いて演奏する技能	(ウ)思いや意図にふさわしい表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能 ㉘ 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能 ㉙ 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能	(ウ)思いや意図にふさわしい表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 簡単な楽譜を見てリズムや速度、音色などを意識して演奏する技能 ㉘ 打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して、音色や響きに気を付けて演奏する技能 ㉙ 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏する技能	(ウ)創意工夫を生かした表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する技能 ㉘ 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能 ㉙ 各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能	(ウ)創意工夫を生かした表現をするために必要な次の㉗及び㉘の技能を身に付けること。 ㉗ 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能 ㉘ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて演奏する技能
		ウ 音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ 音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ 音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ 音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
		(ア)音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の㉗及び㉘をできるようにすること。 ㉗ 音遊びを通して、音の面白さに気付くこと。 ㉘ 音や音楽で表現することについて思いをもつこと。	(ア)音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の㉗及び㉘をできるようにすること。 ㉗ 音遊びを通して、音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たりすること。 ㉘ どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつこと。	(ア)音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の㉗及び㉘をできるようにすること。 ㉗ 音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得ること。 ㉘ 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつこと。	(ア)音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の㉗及び㉘をできるようにすること。 ㉗ 即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ること。 ㉘ 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつこと。	(ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。	(ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。
		(イ)次の㉗及び㉘について、それらが生み出す面白さなどに触れて気付くこと。 ㉗ 声や身の回りの様々な音の特徴 ㉘ 音のつなげ方の特徴	(イ)次の㉗及び㉘について、それらが生み出す面白さなどと関わって気付くこと。 ㉗ 声や身の回りの様々な音の特徴 ㉘ 簡単なリズム・パターンの特徴	(イ)次の㉗及び㉘について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くこと。 ㉗ いろいろな音の響きの特徴 ㉘ リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴	(イ)次の㉗及び㉘について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて理解すること。 ㉗ いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴 ㉘ リズム・パターンや短い旋律のつなげ方や重ね方の特徴	(イ)次の㉗及び㉘について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて理解すること。 ㉗ いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴 ㉘ 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴	(イ)次の㉗及び㉘について、表したいイメージと関わらせて理解すること。 ㉗ 音のつなげ方の特徴 ㉘ 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴
	(ウ)気付きを生かした表現や思いに合った表現をするために必要な次の㉗及び㉘の技能を身に付けること。 ㉗ 音を選んだりつなげたりして、表現する技能 ㉘ 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能	(ウ)気付きや発想を生かした表現や、思いに合った表現をするために必要な次の㉗及び㉘の技能を身に付けること。 ㉗ 音を選んだりつなげたりして表現する技能 ㉘ 教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能	(ウ)発想を生かした表現、思いや意図に合った表現をするために必要な次の㉗及び㉘の技能を身に付けること。 ㉗ 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現する技能 ㉘ 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくる技能	(ウ)発想を生かした表現、思いや意図に合った表現をするために必要な次の㉗及び㉘の技能を身に付けること。 ㉗ 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能 ㉘ 音楽の仕組みを生かして、音楽をつくる技能	(ウ)創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。	(ウ)創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。	

学部	小学部			中学部		高等部	
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
A 表現		エ 身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	エ 身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	エ 身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	エ 身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	エ 身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	エ 身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
		(ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつこと。	(ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつこと。	(ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつこと。	(ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、体を動かすことについて思いや意図をもつこと。	(ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫すること。	(ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫すること。
		(イ) 次の㉗及び㉘について気付くこと。 ㉗ 拍や曲の特徴的なリズム ㉘ 曲名と動きとの関わり	(イ) 次の㉗及び㉘の関わりについて気付くこと。 ㉗ 曲のリズム、速度、旋律 ㉘ 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部	(イ) 次の㉗及び㉘の関わりについて気付くこと。 ㉗ 曲の雰囲気と音楽の構造との関わり ㉘ 曲名や歌詞と体の動きとの関わり	(イ) 次の㉗及び㉘の関わりについて理解すること。 ㉗ 曲想と音楽の構造との関わり ㉘ 曲名や歌詞と体の動きとの関わり	(イ) 次の㉗及び㉘について理解すること。 ㉗ 曲想と音楽の構造との関わり ㉘ 曲想と体の動きとの関わり	(イ) 次の㉗及び㉘について理解すること。 ㉗ 曲想と音楽の構造との関わり ㉘ 曲想や音楽の構造と体の動きとの関わり
		(ウ) 思いに合った動きで表現するために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技能 ㉘ 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かす技能 ㉙ 教師や友達と一緒に体を動かす技能	(ウ) 思いに合った体の動きで表現するために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして、身体表現をする技能 ㉘ 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現する技能 ㉙ 教師や友達と一緒に体を使って表現する技能	(ウ) 思いや意図にふさわしい動きで表現するために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりする技能 ㉘ 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる技能 ㉙ 友達と動きを合わせて表現する技能	(ウ) 思いや意図にふさわしい動きで表現するために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 示範を見て表現したり、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現したりする技能 ㉘ 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる技能 ㉙ 友達と動きを相談して、合わせて表現する技能	(ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能 ㉘ 設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせる技能 ㉙ 友達と動きを組み合わせる技能	(ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。 ㉗ 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能 ㉘ 設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせたり、即興的に動いたりしてまとまりのある表現をする技能 ㉙ 友達と動きを組み合わせたり、即興的に表現したりする技能

学部	小学部			中学部		高等部	
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
B 鑑賞	ア 音楽遊びの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	(ア)音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとする事。	(ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くこと。	(ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くこと。	(ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くこと。	(ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。	(ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。	(ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くこと。
	(イ)聴こえてくる音や音楽に気付くこと。	(イ)身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けること。	(イ)曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くこと。	(イ)曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かること。	(イ)曲想と音楽の構造等との関わりについて理解すること。	(イ)曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。	(イ)次の㉗及び㉘について理解すること。 ㉗ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わり ㉘ 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わり
「共通事項」	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。			(1)1段階と2段階の「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		(1)1段階と2段階の「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
	ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考えること。			ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。		ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。	
	イ 絵譜や色を用いた音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて、その意味に触れること。			イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解すること。		イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解すること。	